

関東ふれあいの道を歩く(埼玉)④峠の歴史をしのぶみち

2021年3月21日(日)池内淑皓

2021年2月28日(日)晴れ。新型コロナで緊急事態宣言中であるが、健康維持の為に関東ふれあいの道を歩く事にした。

遥か昔より秩父地方から飯能、比企地方へ抜けるには、多くの峠を越えなければならなかった。今回のウオークはタイトル通り、6つの峠を訪ねる15km、6時間30分の健脚向きのコースが設定されている。春にしては寒かったが、快晴の中爽快な気分で峠の歴史をしのんだ。



関東ふれあいの道④コースの案内板

(首都圏自然歩道連絡協議会)



コース案内図



「今日歩く主な峠の概略図」秩父から比企に抜ける主要な峠である(●印)



「行程図」 正丸駅から白石バス停まで 15.6km、6 時間 30 分の健脚コース



前日飯能のホテルに宿泊して、今日2月28日は朝2番電車で正丸駅に降り立つ



正丸駅 6:15 歩き始める。まだ夜が明けきっていないが、秩父鉄道のガードを潜って峠に向かう



途中茶店があるが、コロナの影響で現在休業中。元気で再会してほしい



「安産地藏尊」大蔵山集落にある。金の胎内仏を持つ仏として信仰されている



道標の傍らに“みつまた”の花が咲きだした、春は目の前に来ている



「お由良様」山の神を祀る小さな祠。古木、巨岩等をあがめる、事で、山に働く人達の安全を守る



途中正丸峠ガーデンハウスを經由して、直接旧正丸峠への道を分ける



道は小沢沿いに谷を上り詰めてゆく、日が差してきた



先の台風の影響で崩れている部分もあるが、道はしっかりしている



「正丸峠」林道開削に伴って作られた峠。茶店もあり駐車場もある



正丸山、川越山と続く小ピークの尾根は、葉の落ちた雑木のなだらかなルートを行く



珍しく石標を立てて設置されている(大部分は横に置かれ、草木で覆われ文字が読みにくい)



正丸山を通過



川越山(766m)通過、ここには三等三角点が埋まる



「旧正丸峠」多くの人達が行き交った峠。初花、松枝集落の生活道路、唯一林道が交差していない



ここから虚空蔵峠までは痩せ尾根の岩場もあり、ヒヤリとさせられる



木枕が崩れ去り、急な泥尾根にはロープが垂れ下がる



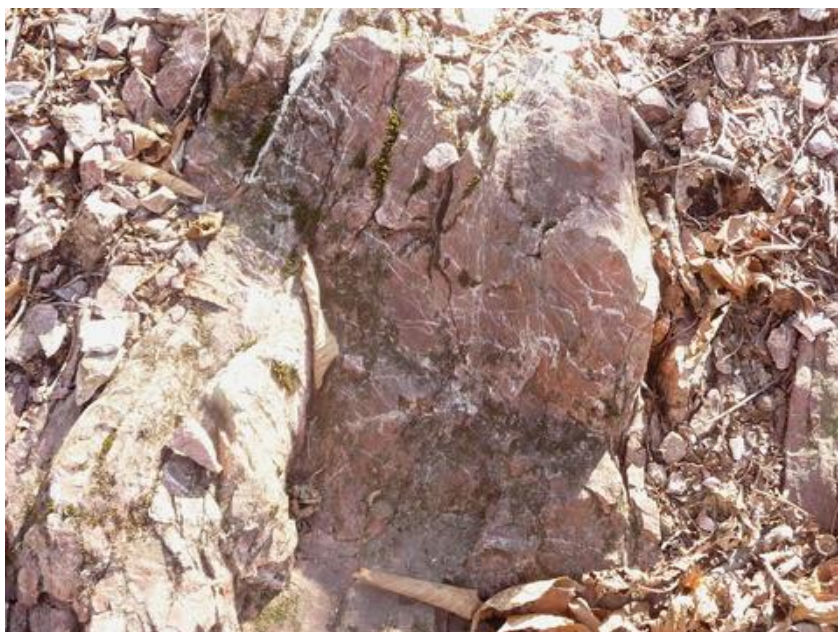
峠に向けて 200m程急激に下る、木枕の連続だ



「虚空蔵峠」麓の国道 299 号線から分岐し、この峠を経由して、刈場坂峠に向かっている林道がここを通る



刈場坂峠へは、舗装された虚空蔵峠からの林道を通る。途中秩父古生層(1.5 億年前)の褶曲地層が良く観察出来る



この崖にも「紅簾石片岩」という珍しい地層が露頭している(マンガン系の高圧低温形の変性岩)



「刈場坂峠」

秩父から比企に抜ける峠であると共に、現在はグリーンラインと言う昭和 40 年開通した全長 26kmの広域林道が通る



凹状のくぼ地を通り抜け



乾いた雑木の尾根を潜ると



「大野峠」に着く。ここも舗装された林道が交差しているから、昔の風情はすっかり失われている。
ここから奥武蔵最高峰の丸山(960m)への登行ルートがある



上越、谷川岳方面が見えた



「高篠峠」ここは古くから秩父巡礼一番札所への道筋で多くの旅人が行き交った



「昭和 8 年 建 立 の 道 し る べ」 大 野 村 を 経 て 比 企 郡 平 村、秩 父 郡 高 篠 村 を 経 て 秩 父 町・・・と 彫 ら れ て い る



「白石峠」正丸から歩いて来て 7 つ目の峠。

秩父から比企に出るにはこの南北に連なる長大な尾根を横切らなければならない



峠道を縫う尾根歩きは、今日歩いたテーマの、「峠の歴史をしのぶみち」にピッタリだ。



里に向かってゆるやかに峠を下るのは、何となく寂しい気がする



関東ふれあいの道石標も半ば落ち葉に埋もれていた



里へはいつものように荒れた谷沿いに下り



谷道から林道に姿を変えれば、集落が近くなる



峠から1時間ほど下ると、バスの待つ白石集落に着く。



朝早くから歩いたおかげで、14時04分小川町駅行きバスに乗車出来た。
私の計測では、休憩・昼食を入れて7時間50分・23kmの歩行であった。



ゴールの乗車駅は東武東上線小川町駅、この先森林公園駅で横浜中華街行きに接続しているから便利だ

[参考タイム]正丸駅(6:16)→正丸峠(7:30-7:40)→旧正丸峠(8:27-8:35)→虚空蔵峠
(9:40-9:50)→刈場坂峠(10:10-10:25)→大野峠(11:47 途中昼食)→高篠峠(12:17-12:
:20)→白石峠(→12:45-12:55)→白石車庫バス停(13:45-14:04)小川町駅(14:40 着)

この項完

「関東ふれあいの道を歩く(埼玉)⑫グリーンラインに沿ったみち」に続く